

日・ASEAN特別首脳会議における安倍総理冒頭発言(抄)
(平成 25 年 12 月 14 日 全体会合での発言)

『ASEANを健康寿命先進地域にすべく、健康イニシアチブを提唱し、医療水準の向上、健康増進及び病気の予防の推進等を目指し、日本の経験・知見を移転していきたい。』

ASEAN健康イニシアチブのイメージ

日本は、20年以上の長期にわたり、健康寿命世界1位を継続。高い成果を生んだ知見を、希望するASEAN諸国に、積極的に移転すべき。希望する国とは、協力する項目について、交渉に入る。

○日本は、女性が77.7歳、男性が72.3歳（2002年）の世界第1位の健康寿命達成国。これを持続。

○ASEAN諸国でも、高齢化が急速なピッチで進行。生活習慣の先進国化に伴い、肥満率の上昇、健康寿命の低さ、生活習慣病の罹患が問題に。

○日本は、戦後の健康的な生活習慣作り、早期発見・予防医療推進、多くの人々が医療サービスを受けられる環境整備で問題を克服。

⇒ 日本の経験・知見を移転し、ASEANを「健康寿命先進地域」に。ユニバーサル・ヘルズ・カバレッジ（UHC）の実現にも貢献。

ASEANの課題

◆食生活の欧米化による肥満

◆生活習慣病の急増
(がん、糖尿病、心臓病等)

◆医療レベル格差の拡大
公立⇔私立、都市⇔地方

ASEAN健康イニシアチブ 協力項目案

1. 健康的な生活習慣の促進

- ◆ヘルシーフードの定義づくり(低カロリー、低脂肪、減塩)と官民一体となったヘルシーフードの紹介
- ◆栄養調査・食事基準の策定支援
- ◆高齢者でもおいしく、自分で噛める食事メニューの提案
- ◆高齢者の健康づくりのための身体活動ガイドラインの提案

2. 早期発見・予防医療の推進

- ◆地方政府による集団健診制度の構築支援
- ◆保健師の育成、健康教育
- ◆巡回車によるX線造影、がん検診(胃がん、肺がん)
- ◆骨密度測定による高齢者の骨折予防
- ◆血圧・尿糖等の自己測定機器の官民一体となった普及促進

3. 多くの人々が医療サービスを受けられる環境整備

- ◆公的医療保険制度の構築支援(医療格差の解消)
- ◆母子保健サービスの向上支援: 助産師育成支援、母子健康手帳交付制度の構築支援、乳幼児向け予防接種導入提案(麻しん・風しん、ポリオ等)
- ◆日本の医療界の支援による個別の医療機関等、日本式医療センターの構築、運営支援
- ◆医師、看護師、管理栄養士等の国家資格制度構築、育成支援
- ◆国ごとの実情に適した医療機器・医薬品の紹介
- ◆規制当局間での経験及び知見の共有を通じた医薬品・医療機器の規制に関する意見交換の促進
- ◆ICTを活用した遠隔医療システムの紹介
- ◆感染症対策の推進

日本の持つ経験

- 1946～国民栄養調査の実施
- 1980～第1次国民健康づくり
- 1990～アクティブ80ヘルスプラン
- 2000～健康日本21
- 2006～健康づくりのための運動基準
- 2013～健康日本21(第2次)

- 1947～企業健診(労働基準法)、1958～学校での健診(学校保健安全法)
- 1948～医師、看護師等の資格制度の創設
- 1951～健診(X線)の全国標準化(結核予防法改正)
- 1982～胃がん検診を公的に開始

- 1948～医師、看護師等の資格制度の創設
- 1947～母子健康手帳の導入(児童福祉法→母子保健法)
- 1961～国民皆保険制度構築
- 1962～管理栄養士の資格制度の創設

(参考データ)

WHO報告等に基づく健康寿命上位5か国の推移

(男 性)

1990年			2000年			2002年			2010年		
順位	国名	健康寿命	順位	国名	健康寿命	順位	国名	健康寿命	順位	国名	健康寿命
1位	日本	67.7年	1位	日本	71.2年	1位	日本	72.3年	1位	日本	70.6年
2位	アンドラ	66.6年	2位	スイス	70.4年	2位	アイスランド	72.1年	2位	シンガポール	69.6年
3位	クウェート	65.8年	3位	スウェーデン	70.1年	3位	スウェーデン	71.9年	3位	スイス	69.1年
4位	キプロス	65.6年	4位	アンドラ	69.8年	4位	スイス	71.1年	4位	スペイン	68.8年
5位	イスラエル	65.0年	4位	アイスランド	69.8年	5位	オーストラリア	70.9年	5位	オーストラリア	68.4年
						5位	サンマリノ	70.9年			

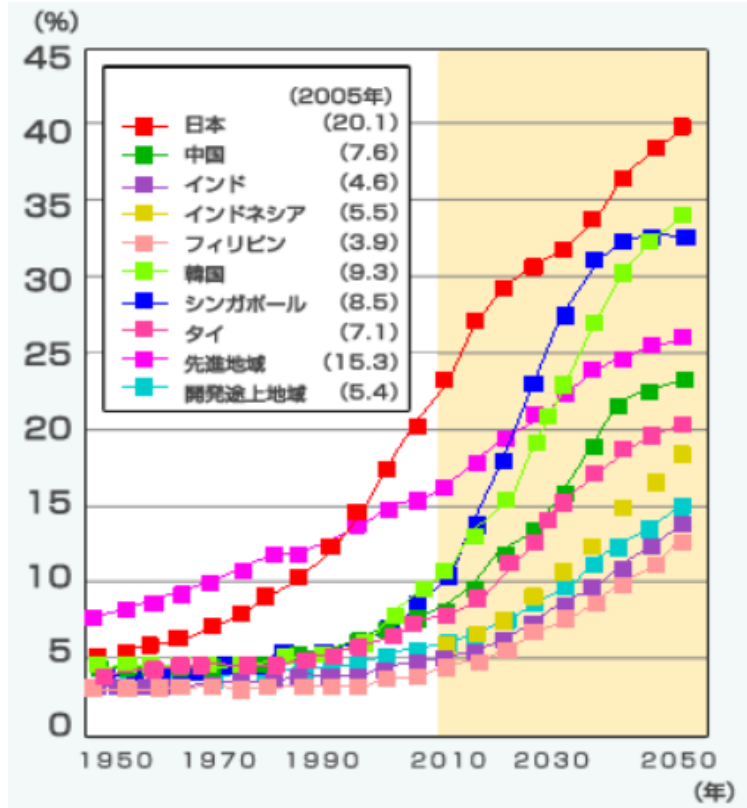
(女 性)

1990年			2000年			2002年			2010年		
順位	国名	健康寿命	順位	国名	健康寿命	順位	国名	健康寿命	順位	国名	健康寿命
1位	日本	72.3年	1位	日本	76.3年	1位	日本	77.7年	1位	日本	75.5年
2位	アンドラ	70.6年	2位	サンマリノ	74.3年	2位	サンマリノ	75.9年	2位	スペイン	73.0年
3位	スペイン	70.1年	3位	モナコ	73.9年	3位	スイス	75.3年	3位	シンガポール	72.6年
4位	スイス	70.0年	4位	スイス	73.7年	3位	スペイン	75.3年	3位	韓国	72.6年
5位	フランス	69.4年	4位	アンドラ	73.7年	5位	モナコ	75.2年	5位	スイス	72.4年

(出典)1990年、2000年、2002年はWHO報告、2010年は Global Burden Disease Study 2010(WHO、ワシントン大学、東京大学などによる共同研究)

(参考データ)

世界の高齢化率の推移

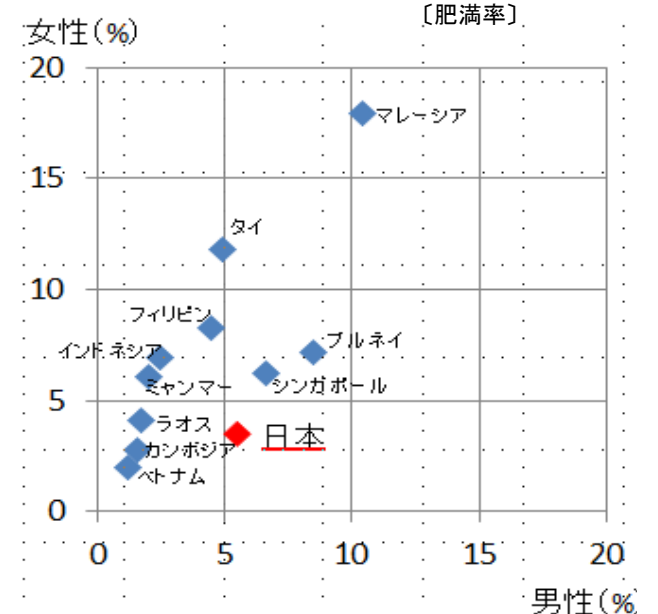
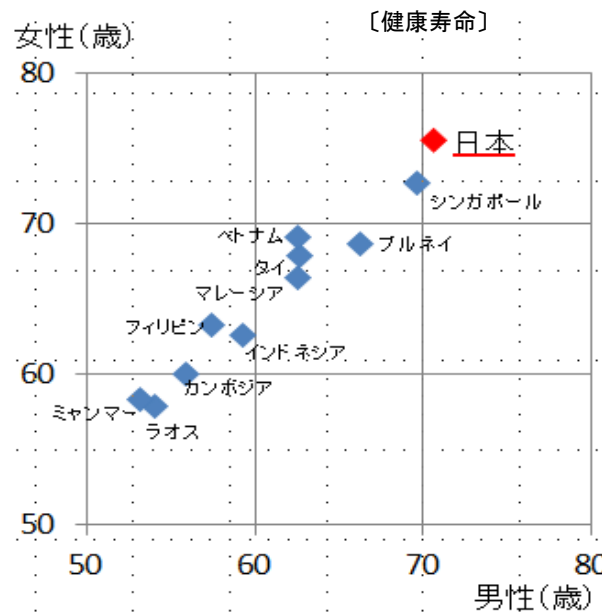
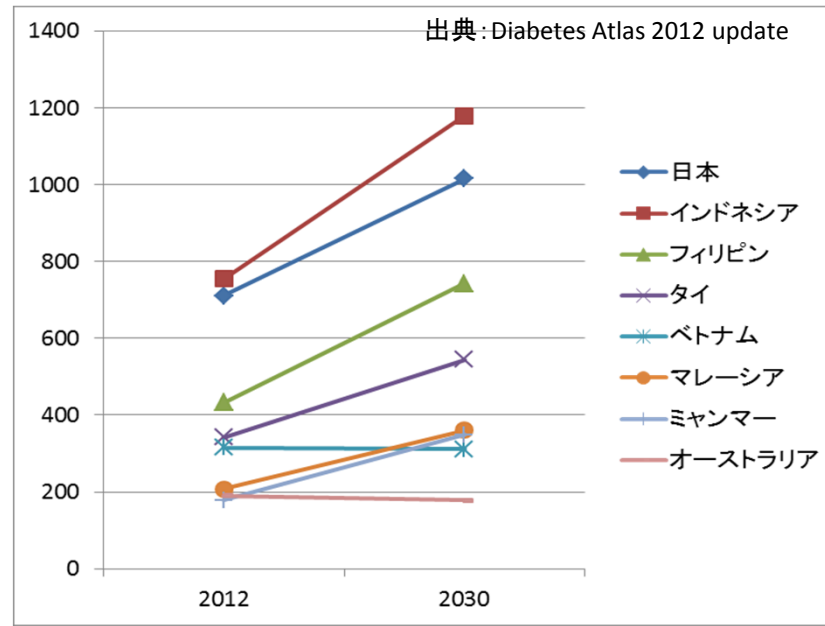


高齢者: WHOの定義で、65歳以上を指す

出典: UN, World Population Prospects: The 2008 Revision

ただし日本は、2005年までは総務省「国勢調査」、
2010年以降は国立社会保障・人口問題研究所
先進地域: 北米、日本、欧州、オーストラリアおよびニュージーランド
開発途上地域: アフリカ、アジア(日本除く)、中南米、メラネシア、
ミクロネシアおよびポリネシア

成人(20~79歳)の糖尿病人口



健康寿命出典) Global Burden of Disease Study 2010

肥満率出典) WHO, Global Health Observatory Data Repository
肥満の定義) Obesity was defined as BMI>=30kg/m²